

**\* ゴーチエ子午環望遠鏡フロアで変わったレベル発見**

ゴーチエ子午環室で、SY式電動通風乾湿計を発見という記事をアーカイブ室新聞第368号(2010年8月5日)に書いた。この乾湿時計と一緒に発見したものが今回のレベル(水準器)である。この種のレベルは今までも何度か見つかっているのだが、今回の物は安っぽくない木箱に入ったもので形も変わったものなので紹介したい。形状から何かに取りつけるようになっているが、何に取り付けられていたかは不明である。まず、発見された木箱である(写真1)。



写真1 レベルと書かれた木箱

木箱を開いた様子が写真2である。



写真2 木箱を開いたところ

箱から取り出し、箱の上に置いたレベル(写真3)。

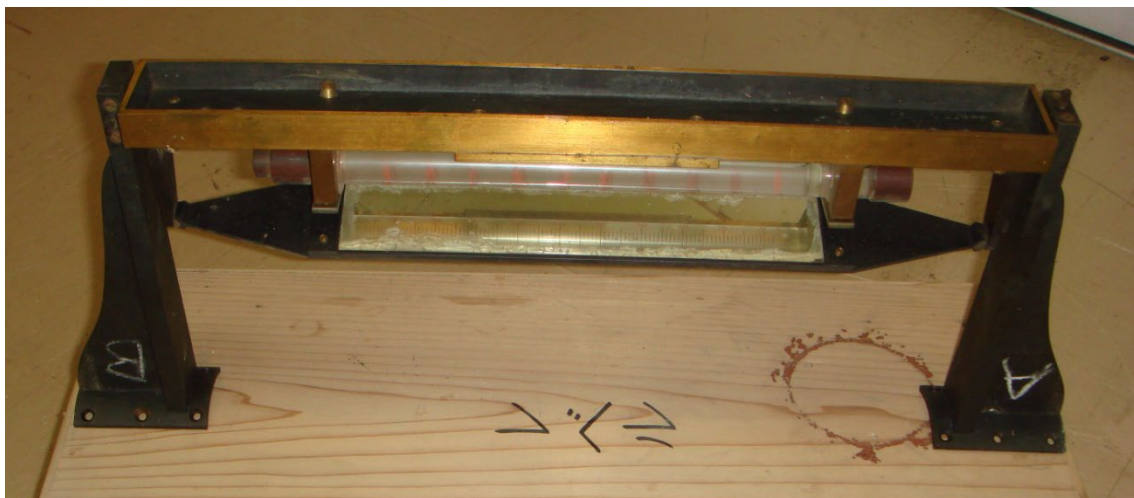


写真3 箱から取り出したところ

足には、A,Bと書かれており、円いものに取り付けるようになっており、それぞれ6個のビス穴がある(写真4、写真5)。



写真4 足 A



写真5 足 B

また、上部が箱型になっている(写真6)。



写真6 上部が箱状になっている

水準器の上部の箱状のものがどのような働きをするのかも不明である。この箱の底にはビス穴があいているから液体を入れるとは思えない。

また、レベルの調整機構として水平の調整が写真7、平行度の調整が写真8である。

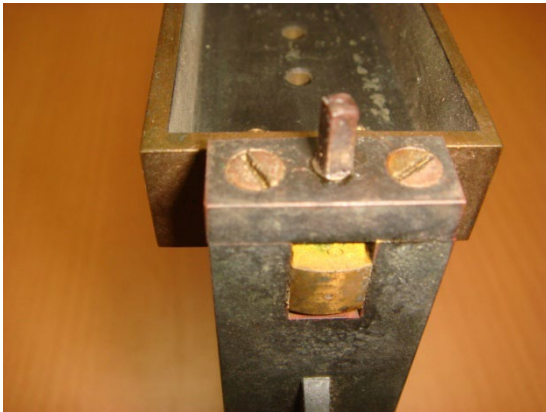


写真7 水平の調整ねじ



写真8 平行度の調整ねじ

今まで、経緯儀、子午儀をいくつも見つけてきた。一つの経緯儀、子午儀には水準器がいくつも付いていることが多い。これ等の測定器は水平に設置することが重要であるからである。ゴーチエ子午環室には望遠鏡は本体の子午環だけである。このレベル（水準器）がどのように使われたものか分からない。これまで見つけたレベルはメモリを鏡で読むようになっており、本体には鏡で見た時正立文字が見えるように刻まれている（写真9）。

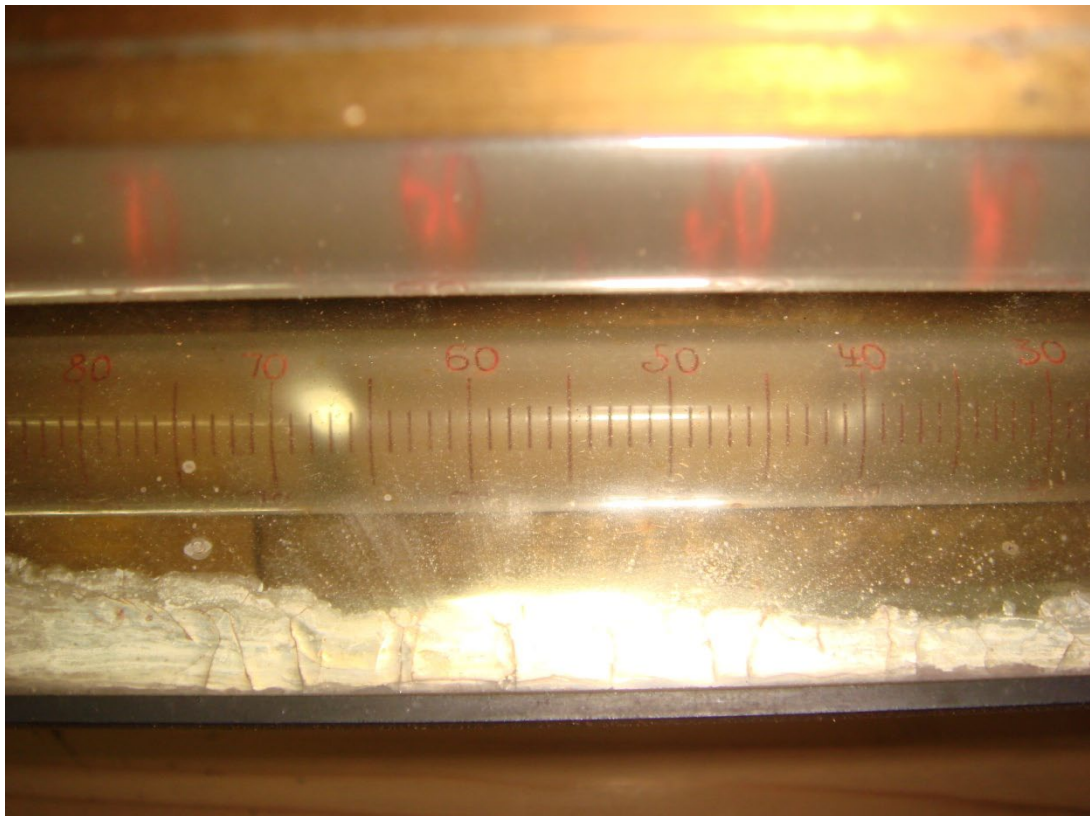


写真9 鏡に正立文字で読めるように工夫されている